

サッカー競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和7年5月25日(日)・6月1日(日)

会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場

第二球技場、補助競技場

競技規則

本項に定める以外は、令和7年度公益財団法人日本パラポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技上の規則及び注意事項

開催日は、以下の通りとする。また、1部-11人制、2部・3部-8人制とする。

5月25日(日) … 2部・3部・5人制

6月 1日(日) … 1部・個人種目

1. 団体戦

- (1) 選手エントリー表は、1部(11名の選手と最大7名の交代要員)、2部・3部(8名の選手と最大10名の交代要員)、5人制(5名の選手と最大5名の交代要員)とし、試合ごとに試合開始30分前までに競技本部へ提出すること。
- (2) 試合時間は、以下の通りにする。
 - 1 部 前後半各20分。ハーフタイム5分。
 - 2 部 前後半各15分。ハーフタイム5分。
 - 3 部 前後半各10分。ハーフタイム5分。
 - 5人制 前後半各7分。ハーフタイム1分。
- (3) 選手交代は競技の停止中、次の要領で行う。
 - ① エントリー表に記載した交代要員の中から、1部は5名以下、2部・3部は5名以下の選手が交代できる。
 - ② 交代する場合、競技場タッチライン中央付近で審判員の承認を受ける。
 - ③ 交代のため退場する選手が完全にグラウンド外に出てから、交代要員がグラウンドに入る。
 - ④ 一度交代のため退場した選手は、再びその試合に参加することはできない。
 - ⑤ 交代要員は、各チームの選手席にいないといけない。
 - ⑥ 5人制は、交代自由とし、一度交代した選手が再度ピッチに入ることもできる。
- (4) ボールは大会本部で用意する(検定5号球/モルテンF5A4900)。
- (5) 競技は全て審判員によって進行される。(5人制は1名審判、オフサイドなし)
- (6) 試合中、登録メンバー及び監督・コーチ以外はベンチに入れない。
- (7) 選手が負傷などでグラウンドから出入りする場合は、審判員の承認を受けなければならない。
- (8) 付添、ボランティア等の助言・協力は、グラウンド内では禁止する。
- (9) 競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助が必要となった場合は、審判員またはチーム帯同役員にその旨を申し出て、指示に従うこと。
- (10) 双方のチームのユニフォームが識別しにくいときは、審判員の指示によりビブス等を着用する。
(ビブスは各チームで用意する※感染症拡大防止の観点から着回し、貸与はしない)
- (11) 競技に支障をきたすユニフォーム、シューズ等の用具は使用できない。(ゴム底スパイクは使用可)
- (12) 同点の場合の上位進出チームは、各チーム3人ずつPK戦によって決定する。

(13)決勝戦において、同点の場合は5分ハーフの延長戦を行う。

2. 個人種目

(1) 個人種目は、大会2日目（6月1日（日））の9時から12時（予定）に補助競技場で実施する。

(2) 個人種目は、団体戦に出場しない選手が参加し、次の内容を行う。

- ・ドリブルシュート：16.5m離れたゴールまでの定められたコースをドリブルし、シュートゾーンでボールを止めた後、シュートする。
- ・コースは5個のコーンを設置し、最初のコーンはスタートラインから2.75m、最後のコーンはゴールライン手前2.75mの距離に設置する。
- ・ドリブルを始めてからシュートゾーンでボールを止めるまでに要した時間を60から引いたものを得点とする。
- ・定められたコースを通過できなかった場合は、不通過ごとに5点差し引く。
- ・シュートが入ったところの得点がボーナス点として加算される。

(3) 組合せチームごとに役員の指示によって進行される。

3. その他

(1) 監督者会議は行わない。

詳細については、申し込み締め切り後にメール等で連絡し、大会当日に確認を行う。

(2) 団体戦は、参加チーム数によって、トーナメント方式あるいはリーグ戦方式を決定する。

(3) 団体戦参加チームは、審判を依頼する場合がある。

(4) 競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。

※大会プログラムは事前に送付する。

※試合コートにはチーム関係者のみ入場可能とする。